



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

2012年

Reach Within to Embrace Humanity

R.I 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 養田 隆 幹事 村田 勝俊

クラブ会報・広報委員会 木村 洋一・桑原 志郎・松島 宏明・大友 一之

1月16日号

第2801回例会

(12月12日(月)第2例会)

- | | |
|--------------|--|
| 1. 点鐘 | 7. 委員会報告 |
| 2. ローターソング斉唱 | 8. 卓話 |
| 3. 来訪者紹介 | 「南三陸町歌津仮設集会所
建設プロジェクト報告」
村田 勝俊 君 |
| 4. 出席100%表彰 | |
| 5. 会長の時間 | |
| 6. 幹事報告 | 9. 点鐘 |

ようこそビジター

米山奨学生 ミフタフル・フダ 君

出席100%表彰

養田 隆君 25回
竹内 靖博君 16回
前原 勝良君 11回
月門 快憲君 3回



- ・12/21(水)S.A.A 親睦活動委員会 家庭集会
- ・12/26(月)、1/2(月)、1/9(月)休会
- ・1/16(月)新年初例会 桐生倶楽部 点鐘：12：30

幹事報告

- ・安藤ガバナー事務所、疋田ガバナー事務所より年末年始休暇のお知らせが届いております。
- ・すばらしい歌津をつくる協議会より「一燈」が届いております。
- ・桐生南、桐生赤城の各RCより週報到着。
- ・次週 19日(月)は、家族合同忘年クリスマス会です。桐生商工会議所6Fケービックホールにて午後6時30分点鐘となりますので、お間違えのないようお気をつけください。尚、次回桐生倶楽部での例会は、1月16日(月)新年初例会となります。

米山奨学生

ミフタフル・フダ君へ
奨学金授与



会長の時間

《報告》

- ・12/5 定例理事会
- ・12/6 桐生5RCチャリティゴルフコンパでのチャリティを桐生タイムス様を通じて桐生社会福祉協議会へ寄付

《予定》

- ・12/15(木)野球部納会 美喜仁館
- ・12/19(月)家族合同忘年クリスマス会 桐生商工会議所6Fケービックホール 点鐘：18：30

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成23年12月12日)
総員66名:出席41名
平成23年11月28日例会修正出席率:84.74%

ニコニコボックス

村田勝俊君...卓話をさせていただきます/須永博之君...誕生祝/養田隆君、竹内靖博君、前原勝良君、月門快憲君...出席100%。

松島地区幹事より

2840 地区 2012-2013 年度の地区研修委員会が12月20日にガバナーエレクト事務所にて開催されます。また12月21日に桐生倶楽部1号室で地区ロータリー財団の委員長会議が開催されます。桐生ロータリークラブの財団関係の方のオブザーブ出席もできますのでご連絡ください。

卓 話



「南三陸町歌津仮設集会所
建設プロジェクト報告」

村田 勝俊 君

本日は宮城県南三陸町歌津・吉野沢地区仮設集会所建設プロジェクトの経過報告をします。現在は建設途中にあり、完成は来年年初になると聞いております。一日も早くできあがり、吉野沢地区の方々が利用を開始できれば幸いです。

さて、養田会長の年度方針の一つである東日本大震災の震災復興支援をどのように進めるかについて8月初めあたりから会長と相談していました。桐生市ボランティア協議会(以下、「ボラ協」)の宮地会長さんに善行青少年表彰の卓話依頼の折、被災地のニーズは時と共に変化していくのでその中でロータリーとして取り組めるものを探っていっていかないとアドバイスをもらいました。9月12日の善行青少年表彰の折、宮地さんから南三陸町の歌津で仮設集会所を必要としている、ロータリーで何とか支援する道はなかるうかというお話がありました。その頃はガバナーへ渡した義捐金を2840地区が戻してもらった時点と考えていましたので、地区のお金が使えないかもしれないという期待のもと、9月19日の地区の5大奉仕セミナーで宮地さんがボランティアについて講演する時に被災地からの具体的なニーズとして話されたいかがかと申し上げました。ところがその資金は被災地の地区に送金された直後で2840地区にもはや残っていないことがわかりました。セミナー終了後、宮地さんと共に安藤ガバナーと島津地区幹事に相談し、安藤ガバナーからロータリー東日本震災復興基金(以下、「復興基金」)の補助金申請をしてみたらどうか、それに値するプロジェクトと思うとのアドバイスをもらいました。そこから急遽補助金の申請に入ったわけです。この復興基金は通常のロータリー財団の補助金に比し迅速に審査し決定、実行し、しかも建物の建築充当も認められ、マッチンググラントの制約もないというものでロータリー財団の小沢一彦理事がその予算枠を獲得してきたものです。また、日本委員会委員の皆さんは手弁当で全国から上がってくる案件を審査しておられ、献身的な貢献をなさっています。

申請についての情報収集を進める中でロータリー東日本震災復興基金の日本事務局から所要資金の2分の1程度は持ち出し金として用意することが望ましいとの示唆があり、当初見積金額430万円の半分を当クラブ

などで拠出することが必要となりました。そこで9月26日夕に緊急理事会を開き、案件を協議した結果、養田会長の今年度の目標を実現するのにふさわしいと力強く承認をいただき、プロジェクトが大きく動き出しました。自分たちのプロジェクトになるためには現地に行ってニーズを直接聞く必要があるのではないかとこの意見が理事会であり、なるほどその通りと、本プロジェクトのパートナーであるボラ協の宮地さんに相談し、10月1日宮地さんと私で自動車による日帰りの歌津訪問を実施しました。現地の事業主体である「すばらしい歌津をつくる協議会(以下、「歌津協議会」)の小野寺寛会長との協議、建設業者、建設予定地や仮設集会所の建物のモデルなどを視察してきました。歌津協議会はしっかり組織され実績も豊富な歴史ある団体であることから、震災直後から様々な支援団体、支援グループからサポートが来ています。ボラ協の他にもさわやか福祉財団や大牟田社会福祉協議会などから現地のニーズにあった先進的な支援をもらっています。仮設集会所が完成するとさわやか福祉財団に關係する三重県のNPOが子供の教育のプログラムを実施し、歌津の有償ボランティアが活躍することになりそうです。第2分区Aの家主ガバナー補佐からも強力なサポートをいただき、桐生地区5RCのプロジェクトとするのにふさわしいのではないかとこのアドバイスをいただきました。

10月3日には安藤ガバナー事務所にて安藤ガバナーの承認のサインをいただきました。4日には桐生5RCの会長幹事会で案件を説明し、ご理解いただき協力を要請し、翌5日には、日本委員会に補助金申請書を送付しました。この段階で横山パストガバナーから応援を頂きました。13日には日本委員会の北清次委員さんから電話があり、とてもすばらしいプロジェクトとおほめをいただきました。その折に、被災地の地元クラブの協力を得ようにとのご指示がありました。10月24日には日本委員会から承認の連絡が入り、同日行われた桐生地区5RCの本件のための臨時会長幹事会で報告し、各クラブのご協力を確認しました。その間、第2520地区の佐沼ロータリークラブに連絡し、本プロジェクトの協力を要請し、11月4日に同クラブの關係者の方々に直接お願いすることになりました。当日は桐生から新幹線で「くりこま高原駅」を目指しました。同駅では佐沼RCの復興支援委員会の阿部賢悟委員長、阿部泰彦副委員長、佐藤敬喜委員の3名の方に出迎えていただき、車で佐沼RCが例会場としているサンシャインホテル佐沼に到着し、歌津協議会の小野寺会長も合流、ミーティングを1時間ほど持ちました。



仮設集会所建設
予定地にて

小野寺会長
宮地さんと。



佐沼ロータリークラブの皆さん
歌津協議会会長との記念撮影

佐沼 RC の菅原会長からクラブの概況と復興支援の実績のお話がありました。高校生への支援などクラブ独自の活動、国内クラブと台湾のクラブとのマッチンググラント、大宮シティ RC との協力プロジェクトなど豊富な実績があることがよくわかりました。復興支援委員会の阿部泰彦副委員長をはじめ、佐沼 RC のある登米市には南三陸町出身の方が多く、登米市にも多くの被害がありながらも南三陸町復旧のための中心的な拠点となり会員の方は公私にわたり支援を行ってきています。会計担当の猪俣さんによれば会員の親戚の方も多く被害にあったそうです。ご協力をいただくことになった後、パスト会長の阿部泰彦さんが作ってくださった歓迎ポスターを広げて記念撮影しました。ロータリアンになってよかったと心から思いました。

その後小野寺会長の車で歌津に向かいました。歌津の平成の森の広い駐車場ではテントがすでに10基張られ、その下で仮設住宅の婦人の皆さんが野菜を切っているなど、翌日の屋台村とお祭りの準備が着々と進められていました。機材、テント、炊き出し用品、食材などの全てを桐生から持ってくるとは聞いていましたが、実際の当たりになるとその重さや量の多さにはびっくりしました。頭がさがりました。歌津協議会の事務所で小野寺会長と打ち合わせした後、ボラ協の宮地さんと桐生災害支援ボランティアセンター長の松井さん、小野寺会長、私の4人で吉野沢仮設住宅へ向かいました。乗車した自動車は、最近ボラ協から歌津協議会に寄付されたものです。桐生を走っていた自動車がこうして被災地で役に立っていることを実感しました。



平成の森の駐車場でのお祭りの
八木節音頭・踊り

吉野沢の仮設住宅にはさわやか福祉財団が寄付したテントの寄り合い所「復興茶論」があります。ここにベンチなどを置いて自治会の相談やお年寄りや子供の集まる場として利用しています。今まで大変役に立ってききましたが、寒くなってきたので仮設集会所の完成が待たれます。その仮設集会所の建設予定地は仮設住宅に隣接している好立地で南三陸町から無償で借り受けますが、仮設住宅に隣接した平坦なとても利用しやすい土地でした。

現地視察の後、平成の森に戻り、翌日の準備の後、自治会長さんらとの交流会が行われました。8月の桐生祭りに歌津から海産物や絆 T シャツの販売に参加した方が大勢出席しました。桐生はとても良いところで、今度は八木節を踊ってみたい、本町1、2丁目あたりの町並みをゆっくり歩いてみたいとの声もありました。サンマの刺身など生きのいい料理をいただきながら交流しました。桐生のボランティアと歌津の方との信頼関係が深まっていることを肌で感じました。その折に平成の森の仮設住宅の自治会長さんから、冬に向かって雪かきが足りないので支援してほしいとの要望がでました。宮地さんが桐生ロータリークラブの会長で桐生災害支援ボランティアセンターの主要メンバーの一人である須永君に連絡し、2840地区のロータリークラブ委員会の協力を得て雪かきを70本調達し、翌週の土曜日須永君らロータリークラブがボラ協からの支援品として寄贈し大変喜ばれました。

翌日の11月5日は桐生から当日早朝出発の八木節音頭、踊りチームと深津素子さん率いるEBISU合唱団が到着し、宮城大学生によるすずめ踊り、地元の方の三味線、民謡、踊りなど芸能リレーが始まりました。八木節は2度披露され、2度目には仮設住宅のお年寄りの方の中に踊りだす人も出て歌と踊りの威力はすごいと思いました。屋台の方では、輪投げ、フランクフルトソーセージ、豚汁、カレーライス、ポップコーン、綿菓子が出ていました。ポップコーンと綿菓子を一人で受け持っていた桐生の黒沢さんが大変そうなので私が綿菓子を担当しました。綿菓子を食べたことはあっても作ったことがない私なので、うまくできたのは3個に1つという感じで、塊のような失敗作には仮設のおばちゃんも思わず笑ってしまっています。



綿菓子の失敗作に思わずニコリ

終了後、歌津の方と機材の撤収をし、最後に記念撮影してボウ協の青木さんと松井さんが運転するマイクロバスに乗せていただいて帰路に着きました。

11月15日には日本委員会よりロータリー財団から正式に承認を受けた連絡があり、28日の5RC会長幹事会で報告、29日には日本委員会から歌津協議会に送金が行われ、その後順次桐生地区のロータリークラブから現地に寄付の送金が行われています。これにより2840地区第2分区A、すなわち桐生地区の全てのクラブが足並みをそろえて一致協力して本プロジェクトにあたることができました。2013-2014年から始まるロータリー財団資金の「未来の夢計画」では、単独では立ちあげられないような規模のプロジェクトを複数のクラブが協力して推進するように進めていく必要があるかと思えます。会長幹事会では「未来の夢計画」への取り組みを5RCベースの長期計画の検討の最初の課題として取り組んだらいかかとの提案があり、次回以降議論していくことになっています。

以上が現在までの経過報告ですが、完成した時点でその確認に歌津へ行くこととなります。5RCの会長・幹事会では有志を募って言ったらどうかとの意見が出ています。完成後2カ月以内に日本委員会への報告書を提出することも求められています。仮設集会所を吉野沢の方が利用を進めるのにあたって、現地のニーズがいろいろと出てくることになろうかと思えます。引き続き皆さんのご協力をお願いします。



すべての撤収を終え、現地の方々と記念撮影
仮設集会所建設予定地

桐生ロータリーアクトクラブ
平成23年12月18日
拾う街ッく天国

桐生RAC主催でゴミ拾いをしながらまち歩きを楽しむということで、桐生第一高校、桐生南高校、桐生高校、桐生女子高校の各高校から約40人が参加しました。沼田、藤岡RACや桐生RCのメンバーと一緒に桐生市本町の辺りをグループごとに分かれ、ゴミを拾いながら、チェックポイントを探しゴールする。チェックポイントには、点数がつけられていて、2時間半の制限時間内に多く稼いだチームが勝利となる。

高校生達は、チェックポイントを探しながら地図を頼りに普段は歩く機会の少ない路地などを通り、まちなかで食事をするのもルールの一つに組みこまれていました。



【次回例会予告】

1月23日(月)

みずほ銀行足利支店 支店長 山本日出男様

食事 東西 チャーハン

南三陸町歌津・吉野沢仮設集会所建設状況
すばらしい歌津をつくる協議会撮影
平成24年2月



南三陸町歌津・吉野沢仮設集会所建設状況
すばらしい歌津をつくる協議会撮影
平成24年2月



南三陸町歌津・吉野沢仮設集会所建設状況
すばらしい歌津をつくる協議会撮影
平成24年2月



南三陸町歌津・吉野沢仮設集会所建設状況
すばらしい歌津をつくる協議会撮影
平成24年2月

